

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日 平成15年3月 日

平成15年度	事業コード	11410	電話	042-749-2141
担当部課名	保健福祉部	南福祉事務	所	管理係・保護 班
事務事業名	生活保護施行事務費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第1章	安心して生活できる福祉社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第4節	援護を要する人の自立援助	63以前▼年度
施策名	第1施策	生活の安定	

## 2 実施根拠及び関連法令等

生活保護法 医療扶助運営要綱
-------------------

## 3 事務の区分

法定受託事務 ▼

## 4 経費の区分

義務的経費 ▼

## 5 事務事業の分類

国庫補助事業 ▼

## 6 受益者負担

なし ▼

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか 被保護者に対して適切な医療を確保して、自立の助長を図るとともに、医療扶助の適正実施を図る。	(2)対象(誰、何) 生活保護受給者  対象数 1,337人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容 レセプト点検の充実により、医療費の抑制を図る。 被保護世帯(月平均 973世帯) 被保護人員(月平均 1,337人) 生活保護費(総額) 1,320,313千円 うち、医療扶助費 8,292千円(診療報酬請求書以外の医療扶助費) 生活保護法施行事務費 3,469千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
医療扶助の適正実施	医療扶助の適正実施	過誤調整申請件数に対する返還金件数の比率 返還金の件数 / 過誤調整申請件数 × 100	医療費の適正支出に努める。	24	60	60	60	60
				3	2	1	1	1
活動指標	医療扶助の適正実施	総医療券発行件数に対する過誤調整件数の比率 過誤調整申請件数 / 総医療券発行件数 × 100	医療費の適正支出に努める。	3	2	1	1	1

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
人員・時間数	905	1,086	1,448	1,448	1,448	
人件費	3,765	4,518	6,024	6,024	6,024	
その他経費						
合計	8,518	9,253	9,493	11,658	12,222	
特定財源	475	448	346	563	619	
対象数	1,003	1,165	1,337	1,470	1,617	
対象の単位あたり経費	8.5	7.9	7.1	7.9	7.6	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	レセプト点検嘱託員を1名増員するなどの対応により今まで出来なかった縦覧点検などを実施することにより、更に緻密なレセプト点検が行われ、医療費の適正支出が図られる。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 医療費(公費)の適正支出をはかるため、レセプト点検嘱託員による専門的視点からの点検を実施している。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	適正な医療費支出の観点からも有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	レセプト点検嘱託員によるレセプト点検を実施しており、効率性は保たれている。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	レセプト点検嘱託員による専門的な目で点検しているため、公平性は保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 平成15年度から実施される縦覧点検により、確実にレセプト点検の成果が上がることとなる。	手段	レセプト点検員の1名増員による報酬の増加に比してレセプト過誤調整返還金の増加が多く、削減が図られる。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		県下自治体の中では、レセプト点検業務を全て外部委託して実施しているところもあるが、委託費用が高い。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 平成12年度からレセプト点検嘱託員の導入により、レセプトの過誤発見についてかなりの成果を上げている。また、レセプト点検を充実することにより医療機関への過剰診療等の歯止めとなり、この点からも成果が上がっている。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--